



## シティセールス戦略プランの策定にあたって 「個性と魅力が輝き、活力にあふれる都市」をめざして

川崎市は、昨年、市制施行80周年を迎えました。

大正13年に人口わずか5万人でスタートした本市は、多摩川や多摩丘陵などの豊かな自然の恵みに育まれて発展し、今や人口130万人を超える全国でも指折りの大都市に成長しています。

「ものづくり都市」として、日本の高度経済成長を支えてきた本市は、この間に培われた人材や産業の集積を活かしつつ、今日では世界的なハイテク企業や研究開発機関が数多く立地する国際的な先端産業都市へと、大きくその姿を変えています。

また、東京に隣接し交通利便性の高い本市は、良好な住宅街や魅力ある商業拠点の形成が進み、7つの行政区が個性豊かな表情を持つ、快適で暮らしやすいまちです。

しかし、残念ながら、暮らしやすさをはじめ、先端産業の集積やミュージアム川崎シンフォニーホールなどの文化芸術の発信拠点、さらには大都市に残る豊かな自然など、本市の持つ多彩な魅力が、他都市の方々にあまり知られておらず、芳しくない都市イメージを持たれているのが実状です。

現在、本市では、地域の魅力づくりやその情報発信に向けて様々な取り組みを行っていますが、都市イメージの向上のためには、中長期的な視点に立ち、戦略的にシティセールスに取り組んでいくことが必要です。

こうしたことから、昨年5月、多彩な分野で活躍する委員の方々から成る「シティセールス推進懇話会」を設置し、川崎の持つ魅力やポテンシャルを活かしながら、市のイメージアップを図る戦略について、1年間にわたり、ご議論を重ねていただきました。

こうした議論を踏まえ、新総合計画との整合を図りながら、このたび、今後のシティセールス推進の基本方針となる「シティセールス戦略プラン」を策定いたしました。

川崎の都市イメージの向上を図るためには、このプランに基づき、市民の皆様や事業者の方々など地域を構成する様々な主体との協働により、取り組みを進めていくことが大切です。

「個性と魅力が輝き、活力にあふれる都市」をめざして、全力を尽くしてまいりますので、皆様のご協力を心からお願いいたします。

平成17年3月

川崎市長 阿部 孝夫